

三年生〈国語〉意味調べのやり方

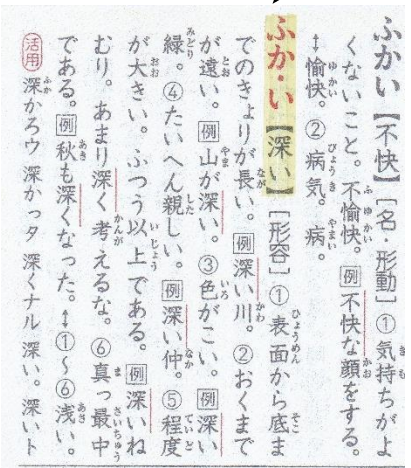
い み し ら

① 教科書三十二ページの「国語辞典をしよう」を読んで、国語辞典の使い方をたしかめましょう。

② 「きつつきの商売」に出てくる、意味の分からない言葉や知りたい言葉を国語辞典を使って調べてみましょう。

③ 調べたい言葉が見つかったら、ラインマーカー(けいこうペン)で見出し語にしるしをつけましょう。

「深い」を調べた場合
ラインマーカーは
何色でもよい。



国語辞典の例文(例)の「」
ろを読むと、分かりやすいです。

④ 意味がいくつもあるときは、教科書の文しよをたしかめて、一番当てはまる意味を国語ノートに書きうつしましょう。

国語ノート(三年生)の
使い方

- ・ノートの新しいページから始める。
- ・だい名を一行目に書く。
- ・上から二ます、七ますのところに直線を引く。
- ・一番上の二ますに、教科書のページを書く。
- ・次の五ますに、調べたい言葉(見出し語)を書く。
- ・のこりのますに、国語辞典で調べた、一番当てはまる意味を書きうつす。

◎次の言葉は、一行空けて書く見やすいです。

二ます分	五ます分	のこり十五ます分
23	22	21
うろ	口々	開店
		かつく
		こたま
		うなずく
		みぎ
		さし出す
		こしらえる
		きざむ
		えらびぬいた
		いみ

上に書いてある言葉は、例です。「きつつきの商売」に出てくる言葉の中で、自分で分からない言葉や、知りたい言葉を書いて調べましょう。
(上の言葉を調べてもよい。)

⑤ ほかに調べられる人は、「国語辞典の使い方」の三十四ページの2をやってみましょう。
(「きつつきの商売」と同じようにノートを使います。)

(だい名) 国語辞典の使い方
(ページ) 34
(ことば) 出す、とく、とる、あげる